

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

2021年11月4日

富士フイルム ホールディングス株式会社

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

■ 2022年3月期 上期業績

(単位：億円)

	FY21 上期	対FY20 上期	対FY19 上期
売上高	12,051	+20.8%	+6.4%
営業利益	1,079	+91.0%	+17.2%
当社株主帰属 四半期純利益	過去 最高 963	+42.4%	+57.4%

- ✓ 新型コロナ影響からの順調な回復に加えて、ヘルスケア及び電子材料でのオーガニックな成長により、大幅な増収・増益を達成。
- ✓ 過去最高益となる当社株主帰属四半期純利益を達成。営業利益の増益に加えて、先端医療分野の出資先会社上場による投資有価証券評価益が寄与。

■ 2022年3月期 通期業績予想

※ 前回予想：2021年8月13日公表値

(単位：億円)

	前回予想	今回予想	対前回予想
売上高	25,000	25,100	+100
営業利益	2,000	過去 最高 2,200	+200
当社株主帰属 当期純利益	1,600	1,750	+150

- ✓ 好調な上期業績を反映し、通期業績予想を上方修正。過去最高営業利益の2,200億円を目指す。
- ✓ 年間配当予想を10円引き上げ、12期連続増配となる110円にする。

(単位：億円)

	上期				
	2021年3月期	2022年3月期	対2021年3月期	為替影響	対2021年3月期 為替影響除く
売上高	9,974 100.0%	12,051 100.0%	2,077 +20.8%	374	1,703 +17.1%
営業利益	565 5.7%	1,079 9.0%	514 +91.0%	100	414 +73.3%
税金等調整前 四半期純利益	996 10.0%	過去 最高 1,299 10.8%	303 +30.5%	128	175 +17.6%
当社株主帰属 四半期純利益	676 6.8%	過去 最高 963 8.0%	287 +42.4%	89	198 +29.2%
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	169.12円	240.55円	71.43円	<その他増減要因 (対前年度)> 営業利益における 原材料価格影響：▲89億円	
為替：米ドル	107円	110円	3円安		
：ユーロ	122円	131円	9円安		

(単位：億円)

売上高	上期		対前年度	為替影響除く
	2021年 3月期	2022年 3月期		
ヘルスケア	2,481	3,756	1,275 (+51.4%)	1,167 (+47.1%)
マテリアルズ	2,712	3,064	352 (+13.0%)	259 (+9.6%)
ビジネスイノベーション	3,642	3,748	106 (+2.9%)	4 (+0.1%)
イメージング	1,139	1,483	344 (+30.2%)	273 (+23.9%)
合計	9,974	12,051	2,077 (+20.8%)	1,703 (+17.1%)

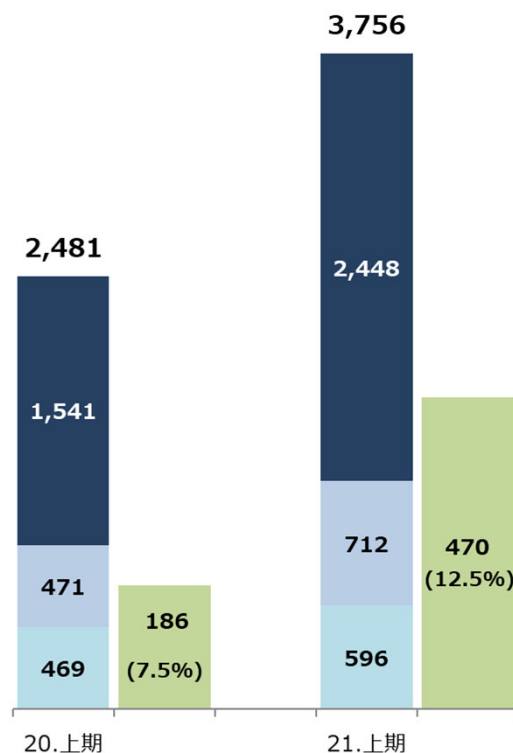
*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益	上期		対前年度	為替影響除く
	2021年 3月期	2022年 3月期		
ヘルスケア	186	470	284 (2.5倍)	261 (2.4倍)
マテリアルズ	267	392	125 (+46.7%)	104 (+38.9%)
ビジネスイノベーション	288	255	-33 (-11.3%)	-57 (-19.6%)
イメージング	-21	124	145 黒字化	111 黒字化
全社/連結調整	-155	-162	-7 -	-5 -
合計	565	1,079	514 (+91.0%)	414 (+73.3%)

全サブセグメントでのオーガニックグロースに加えて、メディカルシステム事業における富士フィルムヘルスケアの連結子会社化も寄与し、売上高対前年+51.4%、営業利益対前年2.5倍となる大幅な増収・増益を達成。

(億円)



■ メディカルシステム
 ■ バイオCDMO
 ■ ライフサイエンス
■ 営業利益 (率)

■ メディカルシステム：売上高2,448億円（対前年+58.9%）

- 富士フィルムヘルスケアの連結子会社化に加えて、肺炎診断に有用な超軽量移動型デジタルX線撮影装置や、超音波画像診断装置の需要継続、また、内視鏡も好調な販売により、売上が大幅に増加。

■ バイオCDMO：売上高712億円（対前年+51.0%）

- バイオ医薬品のプロセス開発受託及び製造受託が好調に推移したことに加えて、米国拠点での新型コロナワクチン候補の原薬製造が寄与するなど、売上が大幅に増加。

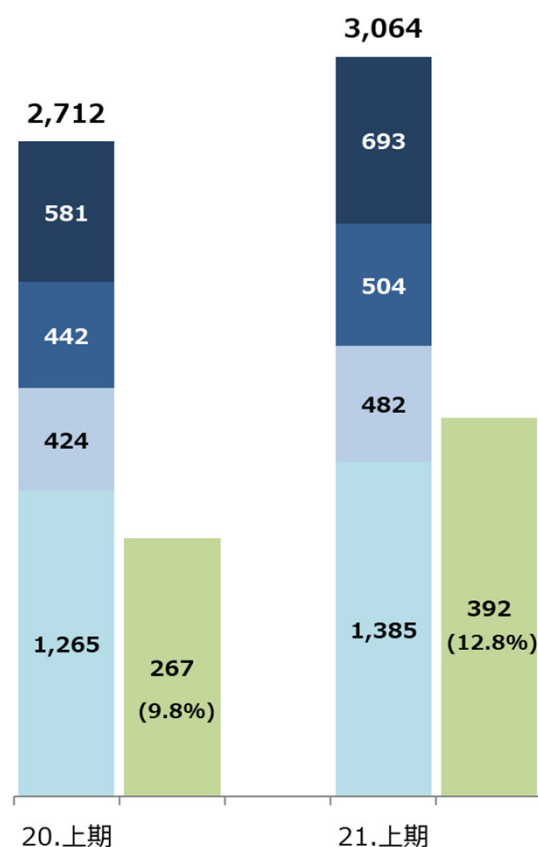
■ ライフサイエンス※：売上高596億円（対前年+27.2%）

- ライフサイエンス事業は、バイオ医薬品製造用途の培地販売が好調に推移し、売上が大幅に増加。
- コンシューマーヘルスケア事業は、「メタバリアEX」などのサプリメントの販売が好調だったことに加え、化粧品も新製品が堅調に推移し、売上が増加。

※ライフサイエンス：ライフサイエンス事業（細胞・培地・試薬）、医薬品事業、コンシューマーヘルスケア事業（化粧品・サプリメント）から構成される開示セグメント

新型コロナ影響からの着実な回復に加えて、半導体需要の増加に伴う電子材料事業の成長が牽引し、売上高対前年+13.0%、営業利益対前年+46.7%となる大幅な増収・増益を達成。

(億円)



■ 電子材料
 ■ ディ스플레이材料
 ■ 他高機能材料
■ グラフィックコミュニケーション
 ■ 営業利益 (率)

■ 電子材料：売上高693億円（対前年+19.3%）

- 半導体需要の増加に伴い、フォトレジストやCMPスラリー、ポストCMPクリーナー、ポリイミドなど幅広い製品群で販売が好調に推移し、売上が増加。

■ ディ스플레이材料：売上高504億円（対前年+13.9%）

- 新型コロナ流行下でのモニター、タブレット、及びTV需要の増加や、スマートフォンの堅調な需要を受けて、各種の高機能フィルム製品の販売が好調に推移し、売上が増加。

■ 他高機能材料※：売上高482億円（対前年+14.0%）

- 記録メディア事業では、新型コロナ流行下で落ち込んでいたデータアーカイブ目的のテープ需要が回復傾向にあり、売上が増加。

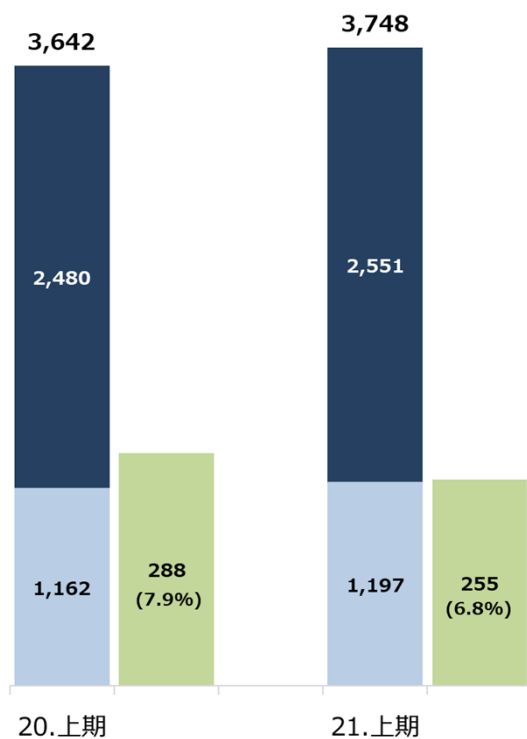
■ グラフィックコミュニケーション：売上高1,385億円（対前年+9.5%）

- オンラインでの商談を積極的に活用するなど販売を伸ばし、売上が増加。
- インクジェット事業では、産業用インクジェットヘッドの販売が欧州・中国での需要増により好調に推移し、売上が増加。

※他高機能材料：産業機材事業、ファインケミカル事業、記録メディア事業から構成される開示セグメント

- ・ オフィスソリューション、ビジネスソリューションともに増収となり、売上高対前年+2.9%。
- ・ 新ブランド移行費用の増加、半導体等の部品コスト増などにより、営業利益対前年▲11.3%。
- ・ 「FUJIFILM」ブランドの事務機を、年内に新市場で販売開始予定。

(億円)



■ オフィスソリューション：売上高2,551億円（対前年+2.8%）

- ・ オフィスプロダクト分野で、アジアパシフィック地域でのロックダウンや半導体等の部品供給の逼迫を背景とした、一時的な機器の供給・設置遅延による影響を、前年度コロナ影響からのノンハード売上の回復でカバーし、売上が増加。
- ・ 富士フィルムの海外拠点や有望な代理店を活用して、欧州や中東、中南米など新市場での販売を進めて、新規のOEM供給も含め、グローバル展開を加速させる。

■ ビジネスソリューション：売上高1,197億円（対前年+3.1%）

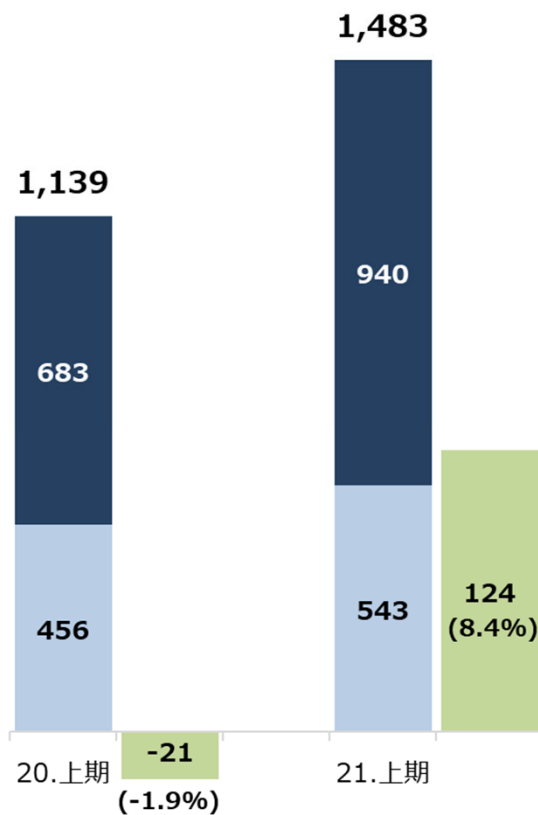
- ・ 国内での自治体向けシステムビジネスの獲得や、海外を中心としたBPO※の販売増などにより、売上が増加。
- ・ 売上構成は、ドキュメントのデジタル化に貢献するBPOを中心とした「インダストリアルソリューション」分野が6割、SMB市場向けにITインフラ環境の提供を行うITアウトソーシングなどの「DXソリューション」分野が4割。両分野の更なる強化により成長を加速させる。

■ オフィスソリューション ■ ビジネスソリューション ■ 営業利益 (率)

※ビジネスプロセスアウトソーシング

インスタントフォトシステムやデジタルカメラの販売が好調に推移し、売上高対前年+30.2%、営業利益対前年黒字化となる大幅な増収・増益を達成。

(億円)



■ 消費者イメージング ■ プロフェッショナルイメージング
■ 営業利益 (率)

■ 消費者イメージング：売上高940億円（対前年+37.7%）

- 新型コロナ影響からの回復に加えて、インスタントフォトシステムや、米国リテーラー向けのドライプリント機器及び材料の販売が好調に推移し、売上が大幅に増加。
- 2021年4月に発売した「instax mini 40」やスマートフォンプリンター「instax mini Link」などが国内外の市場で高く評価され、販売が好調に推移。

■ プロフェッショナルイメージング：売上高543億円（対前年+19.0%）

- ラージフォーマットによる最高画質を小型ボディで楽しめるミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM GFX100S」が世界各地で高い評価を受け、新規ユーザーを取り込み、販売好調が継続。
- 新型コロナ影響により需要が減少していた放送・シネマ用レンズの販売が回復基調にあり、売上が増加。遠望監視やマシンビジョンなど監視計測領域の販売も好調に推移。

(単位：億円)

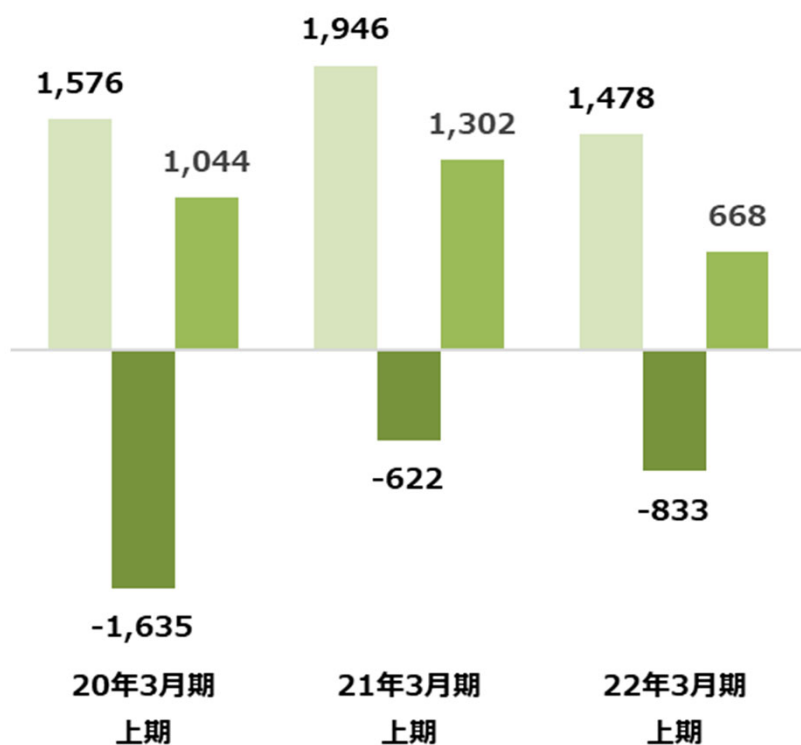
	20年 3月期末	21年 3月期末	22年3月期 9月末	対21年 3月期末
現金 及び現金同等物	3,961	3,948	4,335	387
受取債権	5,584	6,057	5,467	-590
棚卸資産	3,809	4,177	4,630	453
その他流動資産	1,538	892	1,376	484
流動資産計	14,892	15,074	15,808	734
有形固定資産	6,005	6,353	6,540	187
営業権	6,872	8,042	7,770	-272
その他固定資産	5,448	6,023	6,475	452
固定資産計	18,325	20,418	20,785	367
資産合計	33,217	35,492	36,593	1,101

	20年 3月期末	21年 3月期末	22年3月期 9月末	対21年 3月期末
長短社債 及び借入金	6,242	5,030	4,991	-39
支払債務	2,223	2,399	2,460	61
その他流動 固定負債	4,814	5,841	6,054	213
負債計	13,279	13,270	13,505	235
株主資本計	19,533	22,046	22,901	855
非支配持分	405	176	187	11
純資産計	19,938	22,222	23,088	866
負債・純資産 合計	33,217	35,492	36,593	1,101

(単位：円)

期末日 為替レート	20年 3月期末	21年 3月期末	22年3月期 9月末	対21年 3月期末
米ドル	109	111	112	1円安
ユーロ	120	130	130	-

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー（事業買収等除く）



(単位：億円)

	20年3月期 上期	21年3月期 上期	22年3月期 上期
四半期純利益	720	683	984
減価償却費	605	601	650
受取債権の増(-)減(+)	644	653	579
棚卸資産の増(-)減(+)	-320	-262	-473
営業債務の増(+)減(-)	-67	-175	29
その他	-6	446	-291
営業活動によるC F	1,576	1,946	1,478
設備投資	-431	-490	-584
ソフトウェアの購入	-96	-97	-176
投資有価証券の売却・購入等	-46	22	-23
事業買収	-1,057	0	0
その他	-5	-57	-50
投資活動によるC F	-1,635	-622	-833
フリー・キャッシュ・フロー	-59	1,324	645

事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フロー※	1,044	1,302	668
------------------------	-------	-------	-----

※フリー・キャッシュ・フローから、事業買収、及び投資有価証券等の売却・購入を控除しています。

2022年3月期 業績予想

(単位：億円)

	2021年3月期	2022年 3月期 前回予想	2022年 3月期 今回予想	対前年度	対前回予想
売上高	21,925 100%	25,000 100%	25,100 100%	3,175 +14.5%	100 +0.4%
営業利益	1,655 7.5%	2,000 8.0%	過去 最高 2,200 8.8%	545 +33.0%	200 +10.0%
税金等調整前 当期純利益	2,359 10.8%	2,200 8.8%	過去 最高 2,400 9.6%	41 +1.8%	200 +9.1%
当社株主帰属 当期純利益	1,812 8.3%	1,600 6.4%	1,750 7.0%	-62 -3.4%	150 +9.4%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	453.28円	400.18円	436.65円	-16.63円	+36.47円
ROE	8.7%	7.1%	7.7%	-1.0%	+0.6%
ROIC	4.3%	4.9%	5.3%	+1.0%	+0.4%
CCC	123日	124日	120日	-3日	-4日
為替 : 米ドル	106円	109円	109円	3円安	-
: ユーロ	124円	132円	132円	8円安	-
銀価格 (/kg)	74,000円	95,000円	93,000円	+19,000円	-2,000円

※ 前回予想：2021年8月13日公表値

* 2022年3月期 営業利益 為替感応度 米ドル：3億円 ユーロ：8億円

(単位：億円)

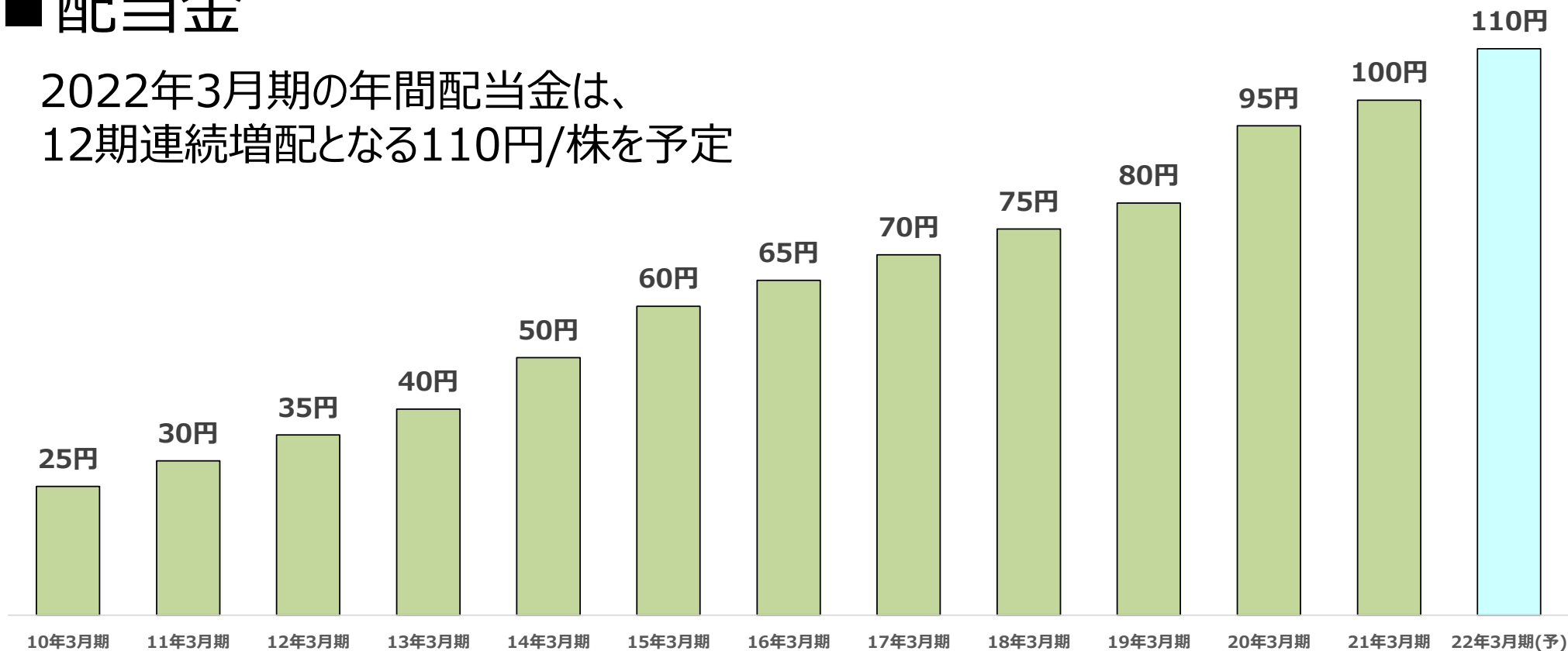
売上高	2022年 3月期 前回予想※	2022年 3月期 今回予想	対前回予想
ヘルスケア	7,700	7,900	200
マテリアルズ	6,200	6,200	0
ビジネスイノベーション	8,000	7,800	-200
イメージング	3,100	3,200	100
合計	25,000	25,100	100

営業利益	2022年 3月期 前回予想※	2022年 3月期 今回予想	対前回予想
ヘルスケア	780	1,000	220
マテリアルズ	620	630	10
ビジネスイノベーション	750	700	-50
イメージング	220	250	30
全社/連結調整	-370	-380	-10
合計	2,000	2,200	200

※ 前回予想：2021年8月13日公表値

■ 配当金

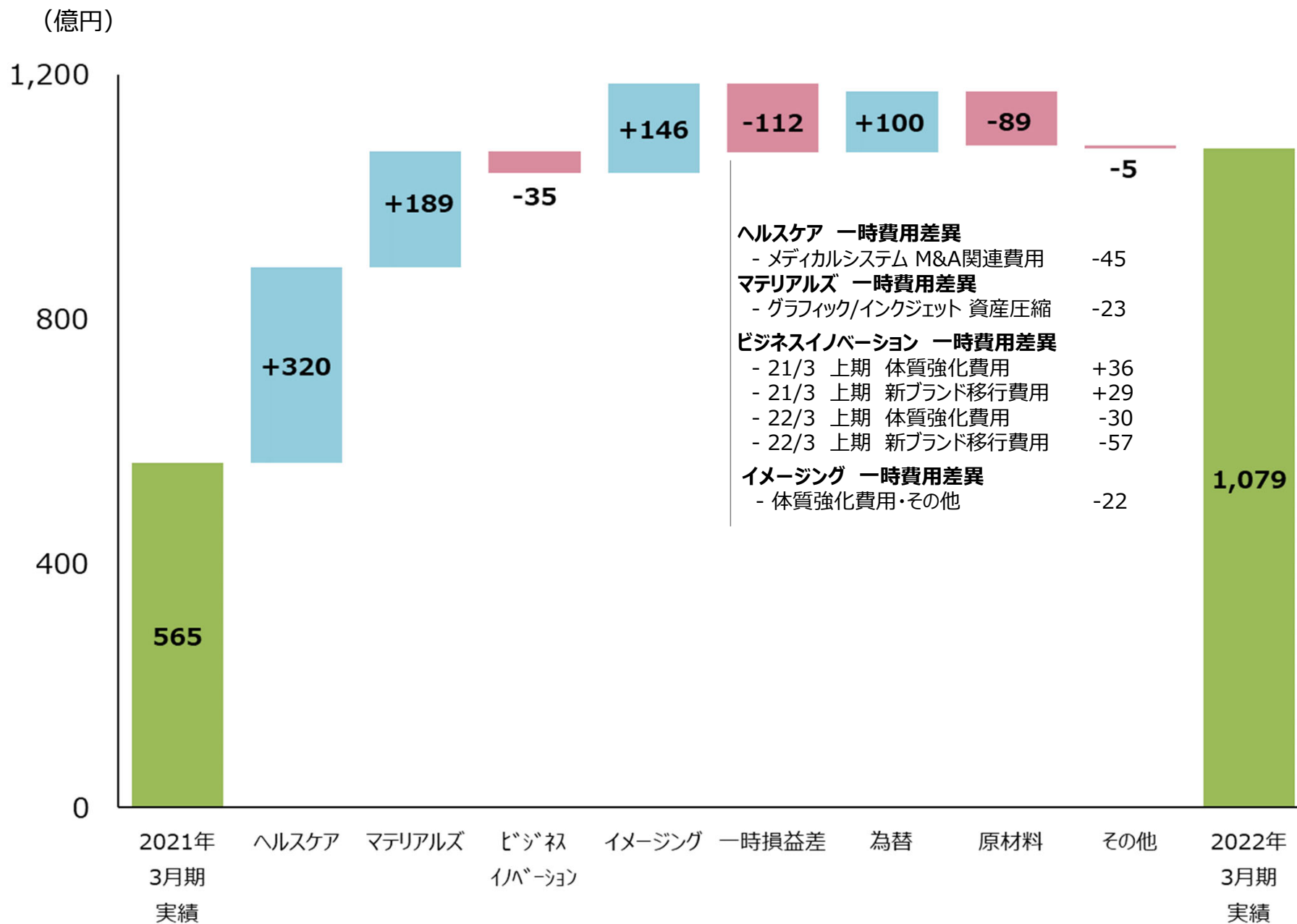
2022年3月期の年間配当金は、
12期連続増配となる110円/株を予定



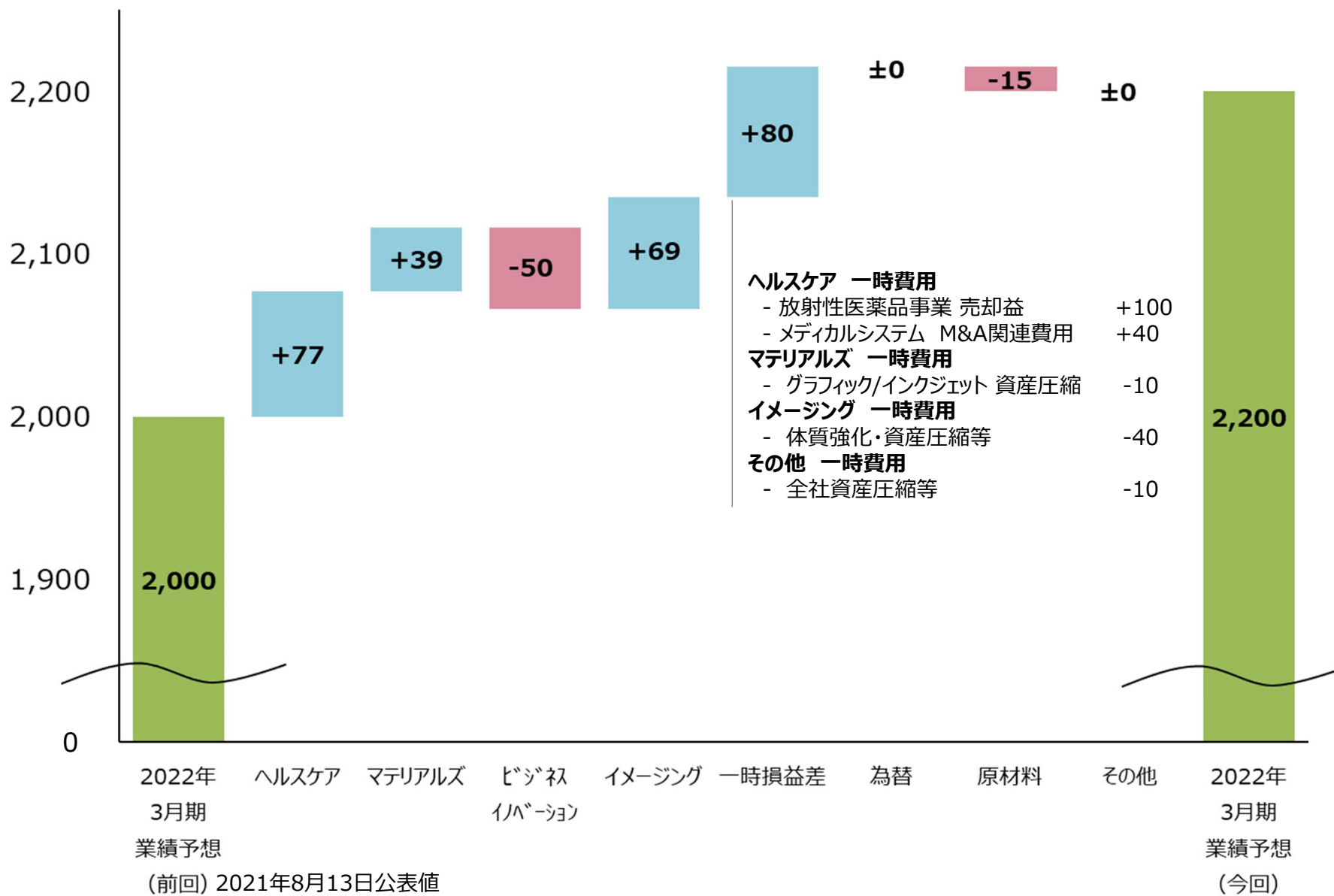
■ 自己株式取得

キャッシュフローを勘案し、株価の推移に応じて機動的に実施

参考資料



(億円)



	2Q			上期		
	2021年3月期	2022年3月期	対2021年3月期	2021年3月期	2022年3月期	対2021年3月期
売上高	5,411 100.0%	6,224 100.0%	813 +15.0%	9,974 100.0%	12,051 100.0%	2,077 +20.8%
営業利益	361 6.7%	516 8.3%	155 +42.9%	565 5.7%	1,079 9.0%	514 +91.0%
税金等調整前 四半期純利益	574 10.6%	521 8.4%	-53 -9.2%	996 10.0%	過去 最高 1,299 10.8%	303 +30.5%
当社株主帰属 四半期純利益	401 7.4%	390 6.3%	-11 -2.9%	676 6.8%	過去 最高 963 8.0%	287 +42.4%
為替 : 米ドル	106円	111円	5円安	107円	110円	3円安
: ユーロ	124円	130円	6円安	122円	131円	9円安

<その他増減要因 (2Q/上期 対前年度)>

営業利益における原材料価格影響 : ▲36億円 / ▲89億円

(単位：億円)

売上高	2Q			上期		
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度
ヘルスケア	1,379	2,014	635 (+46.1%)	2,481	3,756	1,275 (+51.4%)
マテリアルズ	1,438	1,566	128 (+8.9%)	2,712	3,064	352 (+13.0%)
ビジネスイノベーション	1,953	1,887	-66 (-3.4%)	3,642	3,748	106 (+2.9%)
イメージング	641	757	116 (+18.2%)	1,139	1,483	344 (+30.2%)
合計	5,411	6,224	813 (+15.0%)	9,974	12,051	2,077 (+20.8%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q			上期		
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度
ヘルスケア	142 [10.4%]	263 [13.1%]	121 (+84.6%)	186 [7.5%]	470 [12.5%]	284 (2.5倍)
マテリアルズ	136 [9.5%]	179 [11.4%]	43 (+31.1%)	267 [9.8%]	392 [12.8%]	125 (+46.7%)
ビジネスイノベーション	154 [7.8%]	115 [6.1%]	-39 (-25.2%)	288 [7.9%]	255 [6.8%]	-33 (-11.3%)
イメージング	9 [1.4%]	44 [5.8%]	35 5.3倍	-21 [-1.9%]	124 [8.4%]	145 黒字化
全社/連結調整	-80	-85	-5 -	-155	-162	-7 -
合計	361 [6.7%]	516 [8.3%]	155 (+42.9%)	565 [5.7%]	1,079 [9.0%]	514 (+91.0%)

(単位：億円)

売上高	2Q				上期			
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く
メディカルシステム	857	1,306	449 (+52.4%)	413 (+48.4%)	1,541	2,448	907 (+58.9%)	833 (+54.2%)
バイオCDMO	275	373	98 (+35.6%)	83 (+29.9%)	471	712	241 (+51.0%)	215 (+45.4%)
ライフサイエンス	247	335	88 (+35.9%)	83 (+33.6%)	469	596	127 (+27.2%)	119 (+25.3%)
合計	1,379	2,014	635 (+46.1%)	579 (+42.1%)	2,481	3,756	1,275 (+51.4%)	1,167 (+47.1%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q				上期			
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	142 [10.4%]	263 [13.1%]	121 (+84.6%)	106 (+74.8%)	186 [7.5%]	470 [12.5%]	284 (2.5倍)	261 (2.4倍)

(単位：億円)

売上高	2Q				上期			
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く
電子材料	291	356	65 (+22.5%)	48 (+17.1%)	581	693	112 (+19.3%)	84 (+14.7%)
ディスプレイ材料	235	256	21 (+9.0%)	20 (+8.7%)	442	504	62 (+13.9%)	60 (+13.5%)
他高機能材料	217	244	27 (+12.4%)	21 (+9.1%)	424	482	58 (+14.0%)	47 (+11.1%)
グラフィックコミュニケーション	695	710	15 (+2.1%)	-9 (-1.5%)	1,265	1,385	120 (+9.5%)	68 (+5.4%)
合計	1,438	1,566	128 (+8.9%)	80 (+5.5%)	2,712	3,064	352 (+13.0%)	259 (+9.6%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q				上期			
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く
マテリアルズ	136 [9.5%]	179 [11.4%]	43 (+31.1%)	28 (+20.1%)	267 [9.8%]	392 [12.8%]	125 (+46.7%)	104 (+38.9%)

(単位：億円)

売上高	2Q					上期						
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度		為替影響除く	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度		為替影響除く		
オフィスソリューション	1,316	1,275	-41	(-3.1%)	-73	(-5.6%)	2,480	2,551	71	(+2.8%)	-3	(-0.2%)
ビジネスソリューション	637	612	-25	(-3.9%)	-33	(-5.2%)	1,162	1,197	35	(+3.1%)	7	(+0.6%)
合計	1,953	1,887	-66	(-3.4%)	-106	(-5.4%)	3,642	3,748	106	(+2.9%)	4	(+0.1%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q					上期						
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度		為替影響除く	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度		為替影響除く		
ビジネスイノベーション	154 [7.8%]	115 [6.1%]	-39	(-25.2%)	-55	(-35.6%)	288 [7.9%]	255 [6.8%]	-33	(-11.3%)	-57	(-19.6%)

(単位：億円)

売上高	2Q				上期			
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く
コンシューマーイメージング	405	491	86 (+21.7%)	64 (+16.1%)	683	940	257 (+37.7%)	213 (+31.2%)
プロフェッショナルイメージング	236	266	30 (+12.3%)	19 (+7.7%)	456	543	87 (+19.0%)	60 (+13.1%)
合計	641	757	116 (+18.2%)	83 (+13.0%)	1,139	1,483	344 (+30.2%)	273 (+23.9%)

*セグメント間取引消去後

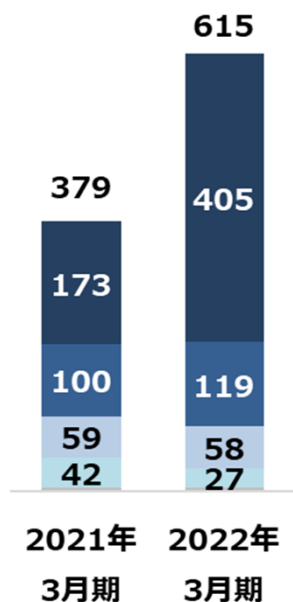
(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q				上期			
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く
イメージング	9 [1.4%]	44 [5.8%]	35 5.3倍	20 3.5倍	-21 [-1.9%]	124 [8.4%]	145 黒字化	111 黒字化

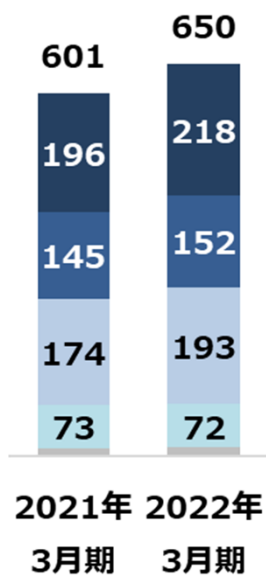
(単位：億円)

		2021年3月期 上期		2022年3月期 上期		対前年度
		構成比(%)		構成比(%)		
日本		42.7%	4,261	39.1%	4,713	452 (+10.6%)
	米州	18.7%	1,860	20.8%	2,506	646 (+34.7%)
	欧州	11.4%	1,141	12.7%	1,536	395 (+34.6%)
	内、中国	14.0%	1,401	13.8%	1,663	262 (+18.8%)
	アジア他	27.2%	2,712	27.4%	3,296	584 (+21.6%)
海外		57.3%	5,713	60.9%	7,338	1,625 (+28.5%)
合計		100.0%	9,974	100.0%	12,051	2,077 (+20.8%)

設備投資（有形固定資産）（上期）



減価償却費（上期）

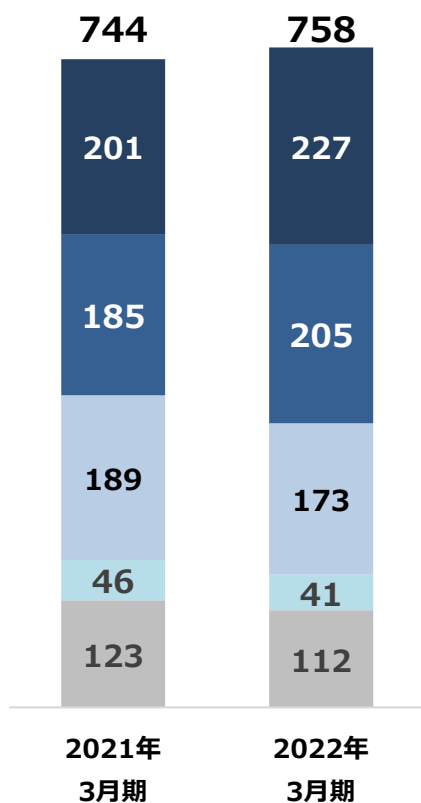


- ヘルスケア
- マテリアルズ
- ビジネスイノベーション
- イメージング
- コーポレート

(単位：億円)

年度	2Q		上期		通期	
	2021年 3月期	2022年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期 (予想)
ヘルスケア	107	227	173	405		
マテリアルズ	55	66	100	119		
ビジネスイノベーション	41	33	59	58		
イメージング	21	16	42	27		
コーポレート	2	4	5	6		
設備投資（有形固定資産）	226	346	379	615	1,009	2,000
ヘルスケア	27	27	44	55		
マテリアルズ	12	18	21	28		
ビジネスイノベーション	46	73	77	125		
イメージング	19	17	30	29		
コーポレート	3	10	7	17		
設備投資（ソフト、レンタル資産他）	107	145	179	254	444	600
ヘルスケア	100	118	196	218		
マテリアルズ	71	75	145	152		
ビジネスイノベーション	87	100	174	193		
イメージング	37	36	73	72		
コーポレート	7	8	13	15		
減価償却費	302	337	601	650	1,234	1,400

研究開発費（上期）



- ヘルスケア ■ マテリアルズ ■ ビジネスイノベーション
- イメージング ■ コーポレート

(単位：億円)

年度	上期		通期	
	2021年 3月期	2022年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期 (予想)
ヘルスケア	201	227		
マテリアルズ	185	205		
ビジネスイノベーション	189	173		
イメージング	46	41		
コーポレート	123	112		
研究開発費	744	758	1,522	1,600
<売上高比>	7.5%	6.3%	6.9%	6.4%
販売費及び 一般管理費	2,663	3,227	5,520	
<売上高比>	26.6%	26.7%	25.3%	

為替

(単位：円)

	2021年3月期				2022年3月期			
	1Q	2Q	上期	通期	1Q	2Q	上期	通期(予想)
米ドル	108	106	107	106	109	111	110	109
ユーロ	119	124	122	124	132	130	131	132

原材料価格 (平均)

(単位：千円/kg)

	2021年3月期				2022年3月期			
	1Q	2Q	上期	通期	1Q	2Q	上期	通期(予想)
銀	55	78	63	74	93	86	91	93

人員

(単位：人)

	2020.9末	2020.12末	2021.3末	2021.6末	2021.9末
連結	72,176	71,474	73,275	75,879	75,007

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	抗新型コロナウイルス (COVID-19) 薬	経口	日本	承認申請中
			米国	Ph II
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 治療薬		日本	Ph III
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬	経口	米国	Ph II
			日本	Ph II
	欧州		Ph II	
	脳卒中後のリハビリテーション効果促進薬		日本	Ph II
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	承認申請中
FF-10501	骨髄異形成症候群治療薬	経口	日本	Ph I
			米国	Ph II
FF-10502	進行・再発固形がん治療薬	注射	米国	Ph II
FF-21101	<div style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">バイオ</div> 進行・再発固形がん治療薬 (Armed抗体)	注射	米国	PhI/ II a
			日本	Ph I
F-1311	前立腺がん診断薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II
FF-10101	急性骨髄性白血病治療薬	経口	米国	Ph I
F-1515	神経内分泌腫瘍治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	承認取得
FF-10832	進行性固形がん治療薬 (ゲムシタビンリポソーム)	注射	米国	Ph I
FF-10850	進行性固形がん治療薬 (トポテカンリポソーム)	注射	米国	Ph I
F-1614	難治性褐色細胞腫治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	承認取得

富士フイルムホールディングス 株主・投資家情報

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>

富士フイルムホールディングス 統合報告書2021

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html>

IR資料室

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials.html>

富士フイルムってどんな会社？

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/individual.html>

グローバルブランディングキャンペーン「NEVER STOP」

<https://www.fujifilm.com/jp/ja/about/brand/story/neverstop>

新型コロナウイルス感染症への取り組み

<https://brand.fujifilm.com/covid19/jp/>

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション部

<https://holdings.fujifilm.com/ja>